

J.A.ミッチェナー

わが青春のスペイン

Iberia

安引宏 訳

スペイン シマ 物語

2



福武文庫
ミ0702

アンダルシア物語 わが青春のスペイン2

1992年4月10日 第1刷印刷

1992年4月15日 第1刷発行

著者——ジェイムズ・A・ミッチェナー

訳者——^{あびきひろし}安引宏

発行者——福武總一郎

発行所——株式会社福武書店

東京都千代田区九段南2-3-28

〒102 電話(03)3230-2131

振替口座(東京)2-87372

印刷所——大日本印刷 製本所——加藤製本

装丁——菊地信義

©Hiroshi Abiki 1992

Printed in Japan

落・乱丁本はお取替え致します

定価はカバーに表示してあります

ISBN4-8288-3249-1 C0197

福武書店

江苏工业学院图书馆

わが青春のスペイン2

蔵書章

ジェームズ・A・ミッチェナー

安部 宏 訳

福武書店

アンデルシア物語 もくじ

イスラム・スペインの光と影

——コルドバからグラナダへ——

- 人生は剣闘士の学校である 10 背教者とふたりの医師 15 イスラム・スペイン覚書 21 花咲き匂う都のまぼろし 26 メスキータの目まい 34 イスラム教とキリスト教の戦い 42 旧ユダヤ人区の花の中庭 51 フラメンコの真実 56 世界一のラボ・デ・トロ調理法 63 シエラ・ネバダ山系の村で 68 驚異のアルハンブラ 74 イスラム教徒追放の愚かしさ 80 イスラム統治の怖るべき遺産 83 醜いカルロス一世宮 87 王家の礼拝堂のふたりの女王 92 ファリヤの暗い正確な和音 97 ベルメハスの塔の教訓 103 ロマンティックな文人リバス公爵 108 本物の男が恋をするとき 112 単純な筋書と多くの血 116 ロマン主義はたやすく行き過ぎる 121 ロマンティックの表と裏 125

— 聖母とドン・ファン —

- 誘惑にみちた春の音 135 三角頭布から目だけがのぞく 139 七十二本のむく
つけき足ども 144 許婚であり母であるマリア 148 ラ・マカレーナの聖母 156
聖週間の核心にあるもの 161 巡行のクライマックス 169 馬市はローマ時代
に始まる 175 とびきりは仲買人の演技 179 フィラデルフィア出身の闘牛
士 184 最高のガスパチョのつくりかた 189 女教師と闘牛士のロマンス 195
サーカスと巡回遊園地 200 歌と踊りのカセタの連なり 204 春祭りの華・
パレード絵巻 208 祭りのあとに農夫は唱う 213 支配階級が国を誤るひと
つの型 217 ジャッキーの乗馬、ウェルズの闘牛論 222 スペイン一の女たら
し 226 ドン・ファン伝説の衝撃波 230 ナンセンスもまた真実を語る 233
国民劇のドン・ファン 237 神の慈悲と愛の聖化 241 誇りと身勝手 247 形
容しきれないセビーリヤ 252 祭りのあと、馬車は故郷をめざす 259

コルドバ市街図

261

グラナダ市街図

262

セビーリヤ市街図

263

解説

264

カバー及び口絵カラー写真 佐伯泰英

本文写真提供 スペイン政府観光局、安引宏

地図制作 相澤裕美

編集制作 株式会社ぱびるす

イスラム・スペインの光と影

——コルドバからグラナダへ——

大 西 洋

バルセロナ

マドリード

リスボン

サン・カリスト

オルナチュエロス

コルドバ

グアディス

セビーリャ

グラナダ

地 中 海

0 200km



イスラム支配下のスペインの跡をたどってみたい——そう考える旅行者は、ふたつの都市のどちらかを選ぶことになる。アルハンブラのあるグラナダか、メスキータ（大回教寺院）のあるコルドバか。

ふたつの都市を比べると、グラナダのほうがずっと心躍るだろうし、わかりやすくもある。アルハンブラ宮殿、広大な庭園、地理的な位置の重要さは、ひとめでわかる。よほど鈍感なひとでないかぎり、グラナダの良さに気づかないで通り過ぎはしない。アルハンブラは、イスラムの記憶の宝庫なのだ。

でもぼくは、個人的な理由が三つあって、コルドバを選ぶ。第一に、コルドバはグラナダより散文的なので、イスラムの遺産をあまり誇張しないで見せてくれるから。第二に、コルドバはイスラム世界の知的センターだったので、その影響もグラナダからムーア人が追われたあとまで、長く残ったから。そして第三に、コルドバにはぼくにとって最も重要なスペイン人四人が住んでいたから。

こういうすばらしい人たちが住んでいた町とはどんなだろう？　なぜ、もっとぴっ

たりの感じの土地ではなく、コルドバに生まれたんだろう？ それに、偶然ではあるうが、四人とも大変な名声を手にしたのはスペインを出たあとのことだというのも、興味ぶかいではないか？

人生は剣闘士の学校である

コルドバはグアダルキビル河が大きくうねるあたり、その右岸に広がる美しい町だ。そして、ぼくの最初の巡礼先に行くためには、快適な大通りをくだって木陰の多い公園に出なければならぬ。公園のはずれに旧ユダヤ人区があり（ただしユダヤ人は一四九二年に立ち退かされ、それ以来、労働者が家族ぐるみ住みついている）、この街の外側に延びるローマ時代の城壁ぞいに進むと、ローマ時代の門に出る。

かつてここには広場があったのだが、その門ぎわに低い石垣に囲まれた小さな台地があつて、中央にクリーム色の大理石の柱があり、その上に彫像が立っている。トীগ姿の背の低い男は頭が禿げていて、右手には原稿の巻物、たぶん韻文の悲劇の巻物を持つ。

顔つきはぼくの思つたとおり、逆境にも迫害にも死にもびくともしない、重厚な紳士である。何しろ暴君ネロが相手だから、何が起きるかわからない。彼は壁からも口



ローマ時代の遺構アルモドバル門のわきに立つセネカの像。

ローマからも顔をそむけ、故郷のアンダルシアの丘陵をはるかに望んでいる。

彼こそはルキウス・アンナエウス・セネカ（紀元前〇四ごろ—紀元後六五）、多くの人が最もすぐれたスペイン人と考え、さらに多くの人が代表的スペイン人と見なす人物である。哲学者、演説家、評論家、劇作家、そして詩人。ずばぬけた文学的業績をあげた当時最高の知識人であっただけでなく、政治的なリーダーでもあって、ローマの執政官もつとめた。ネロの家庭教師に任命され、のちにはネロの顧問官となつて、ネロの行き過ぎを修正した。

生まれつきストア派の哲学者で、好んで都市に住み、進んで政治権力を操作した。試みたことすべてで成功し、完璧なローマ人で同時に理想的なスペイン人だった。

セネカの柔軟な思想も、ついにはネロにつきあえるほど伸び縮みがきかなくなり、皇帝から自殺を命じられる。セネカは人々に説いていたとおり、高貴なストイシズムで自ら生命を断つた。

スペインの知識人の多くは、とりわけ辛辣な精神の持主は、自分たちのことをセネカの息子と見なしている。世界を皮肉に、しかし機智をもつて見られるセネカの心の寛さが、スペイン人に親しみを覚えさせるのだ。彼の極端なまでの自恃の感覚が、そういう生き方の基本にある。そして彼の巧みなことばづかいも、スペイン人の饒舌の

手本となった。

スペイン人とつきあう準備として、ぼくがやった唯一で最高のことは、セネカを再読することだった。セネカはカフェにくつろいでいる男のように同時代の人で、ぼくが会うスペイン人の誰にもまして、しんそこスペイン人だという感じがする。

セネカのことばの味わいを知るためには、ローマの宴会の席で、帝国の指導者たちを前にして話しているところを、聞いているつもりにならなくてはいけない。

われわれがあえて事を試みようとしなのは、事が困難だからではない。われわれがあえて試みようとしなからこそ、事は困難なのです。

火は黄金を試し、苦難は勇敢な男を試す。

戦いの恐怖は、戦いそのものよりたちが悪い。

人生は、使いかたさえ心得ていれば、充分に長いものだよ。

群衆の拍手喝采を浴びるなんて、動機にいかがわしいものがある証拠だね。

大きな図書館は、学ぶ者に教えるより気を散らすことが多い。手当りしだいに多くの著者につきあうより、数少ない著者に限ったほうがはるかにいいんだが。

金銭が尊敬の念で見られはじめたときから、ものの本当の値打は忘れられてしまふものなんだね。

人間は社会的な動物で、いっしょに暮らすように生まれついている。だから、世界はひとつの家だと思ふようになる。

憎まれることを怖れすぎる者は、人の治めかたを知らない。恐怖は王国の護衛にふさわしいのに。

群衆が指導者を支配するとき、その政府は道を誤る。

眞実は事物の本質を貫いているから、けっして退屈しない。嘘だから、ぼくらはうんざりするんだよ。

人生は剣闘士の学校である。そこでわれわれは生き、互いに戦う。

背教者とふたりの医師

スペインの都市ではたいていそうだが、中央広場が青空バス・ターミナルの役をはたす。この広場からほど遠からぬところに、ぼくのお気に入り、ふたりめのコルドバの男がいる。ホシウス司教（スペインではオシオと呼ぶ。二五五ごろ—三五八ごろ）、神の三位一体説の確立のために戦った信念の人である——最大の敵はコンスタンティノールのアリウスで、論理的にイエスは神と共存できず、神より低い本性に違いないと説いた。

ホシウスはコルドバからローマへ、さらに小アジアへ、コンスタンティノールへと、宣教の旅をつづけた。くりかえし異端の烙印をおされ、虐待され、投獄され、迫害されたが、少しもひるまずアリウス主義と戦いつづけた。自分の信仰の正しさを証明するためには、生命を賭けることもいとわなかった。